

(様式2)

令和6年度 施策評価シート

1 施策の位置づけ

基本戦略	1. 魅力にあふれ暮らしたくなる村をつくります
重点目標	2. 誰もが暮らしたくなる環境づくり
主要施策	2-1. 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します

2 施策の評価

※別紙成果指標あり（社会動態）

指標（KPI）	単位	基準値	達成値					目標値	担当課
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
転入者数	人/年	129	137	93	107	128	95	125	企画財政課
空き家バンクを通じて成約した空き家数 ※（ ） 単年値	件/5年	19	2 (2)	3 (1)	5 (2)	6 (1)	8 (2)	25	

3 主な取組

1		移住・定住施策の推進					総合評価	
		朝日村に魅力を感じ、移住・定住を希望する人の増加を目的とする、移住・定住促進のための情報発信、イベント等の実施					A	
事務事業名		担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化	
402	ワーケーションモニター体験会事業	企画財政課	6	縮小	縮小	A		
2		住宅の確保・活用					総合評価	
		子育て世代や若者等の移住・定住を促進するための、住環境の整備					A	
事務事業名		担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化	
16	朝日村空き家活用事業補助金	企画財政課	2	拡大	維持	B		
17	子育て世代住宅取得補助金	企画財政課	5	維持	維持	A		

4-1 施策の評価・検証（企画財政課）

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	移住促進に向け、就業環境と住環境の確立が最重要条件と捉えている。引き続き、就業先の確保策として民間テレワーク施設や県・近隣自治体との連携と空き家活用や賃貸住宅整備等、関係機関等と連携を図りながら取り組む必要がある。
事業の重点化	お試し移住やパンフレットなどにより、村の魅力を発信し、移住機会の創出に取組み、移住への足がかりとする。また、空き家活用補助について賃貸に対する補助だけでなく、売買に対する支援策の検討も必要である。

4-2 施策の評価・検証（産業振興課）

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	移住定住促進のため関係機関等と連携し情報発信や体験イベントを推進する。
事業の重点化	地域おこし協力隊の起業・定着支援

4-3 施策の評価・検証（建設環境課）

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	空き家実態調査の結果を元に令和4年度に空家等対策計画を策定し、空き家対策を推進する。また、空家の利活用について、企画財政課と情報を共有し、移住・定住を推進する。
事業の重点化	空家等対策として、「発生予防」「適正な管理」「利活用の促進」などの取組みを効率的に進める。